

令和3年度(2021年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和3年(2021年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 博昭]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	主要地方道宮原五木線(河俣工区) 単県道路改良事業
事業箇所	八代市東陽町河俣地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線6114)
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和8年度(2026年度)(6年間)
総事業費	500百万円(うち県費500百万円)
事業内容	延長340m、道路拡幅
事業目的	<p>主要地方道宮原五木線は、氷川町、八代市と五木村をつなぐ重要な道路である。しかしながら、一部カーブの連続区間など見通しが悪い区間が多数存在し、木材運搬車両などの大型車はもとより、一般車両の通行にも支障を来している状況である。</p> <p>上記の状況から、道路改良を実施することにより、見通しの悪い区間を解消し本路線の安全で安心な通行を確保するとともに、利便性の向上に寄与するものである。</p>

【現況写真】



(現道の状況)

当該区間はカーブの連続により見通しが悪く、狭小のため、木材運搬車両などの大型車は中央線をはみ出しての通行となり、車両の通行に支障をきたしている。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本箇所を整備することにより、大型車両及び一般車両の通行が安全で円滑になるとともに、地域の利便性が向上する。
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<p>事業を実施しない場合、大型車両との離合が困難であるため、一般車両及び緊急車両等の安全及び円滑な通行が確保できない。</p> <p>道路改良計画については、事業効果の早期発現に優れた現道拡幅案を基本とした。</p>
パートナーシップ ユニバーサルデザイン への配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	森林法に基づく保安林解除の手続きが必要。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	「五木村の今後の生活再建を協議する場」、球磨郡町村会・議長会等にて、五木村から要望あり。
説明会の開催状況と 関係者の意向	事業説明会は未実施であるが、地元からの要望は高い。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

: 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	5
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 公共施設へのアクセス向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	15
	⑥ 救急施設等へのアクセス向上	5	5
	⑦ 公共交通等の充実	5	5
	小計	50	49
緊急性	⑧ 安全性の向上	25	20
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	0
	⑩ 連携する他事業	5	5
	小計	35	25
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小計	5	5
合計		100	84